

施工業者様用

〈施工説明書〉

天井ジャストアウトセット引戸専用枠材 (両側ソフトクローズ)

株式会社 **ウッドワン**

〒738-0023
広島県廿日市市下平良1-12-1

[商品相談窓口]

フリーダイヤル
0120-813-331

[受付時間] 平日8:30~17:00

[休日] 土日・祝日・GW・年末年始・夏期休暇

GKF

上吊り ソフトアート

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。
製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

- ・屋内専用。
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。
- ・ビスはビス穴に取り付ける。
ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、扉の脱落の原因となり危険です。
- ・上吊りレールの固定はインパクトドライバーを使用しない。
上吊りレールの固定に際し、インパクトドライバーを使用すると下地材に割れが発生したり、ビスが空回りしてレールや扉が落下する危険があります。
- ・吊車・レール等は消耗製部品。
引戸用吊車およびレール間に、異物が付着した状態での開閉は避けてください。長期間のご使用にあたり、開閉がしづらくなった場合には、交換(有償)をお薦めします。



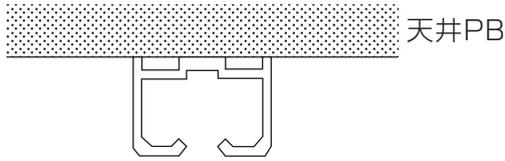
必ずおこなう

- ・開梱後は換気を行なう。
本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。
- ・レールの水平を確認する。
レールの傾きにより、引き込み速度の低下や閉じきらないことがありますので、レールが水平になるよう施工ください。留意点:不陸は1mあたり3mm以下をお願いします。
- ・ほこりやゴミが付着しないようにする。
レール、吊車にほこりやゴミなどが付着すると、引き込み速度の低下や閉じきらないことがありますので吊車にほこりやゴミが付着しないよう配慮ください。
- ・同梱の金具を使用する。
本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。

お願い

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

■天井下レール取り付けタイプ



梱包内容表

梱包を開いたら、部材の数量に不足がないか、商品にキズや破損などがないかを確認してください。

姿図	部材名	数量
	上吊レール	1本
金具セット ZYJGL5		
	クローザー本体(吊車セット)	2セット
	トリガーセット(ビス2本セット)	2セット
ZYT611	トリガー取り付け治具	1個
ZY3334	振れ止め金具(床付用)	1個
55mm φ3.8mm ZYTJ01	上レール取り付けビス(皿ビス)	6本
	エンドキャップ(ビス1本セット)	2個
ZYTR03	床取り付けストッパー(ビス3本セット)	2セット

別売品

	出隅材	2本
--	-----	----

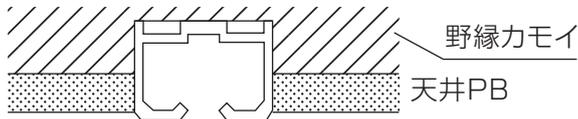
別売品 ※間仕切り錠を使用する場合のみ

	間仕切り用堅枠(モヘア付)	1本
--	---------------	----

出隅材	
	間仕切り用堅枠
間仕切り用堅枠	

3ページに進んでください。

■天井下レール取り付けタイプ(ワズキューボ1,500セレクション標準)



梱包内容表

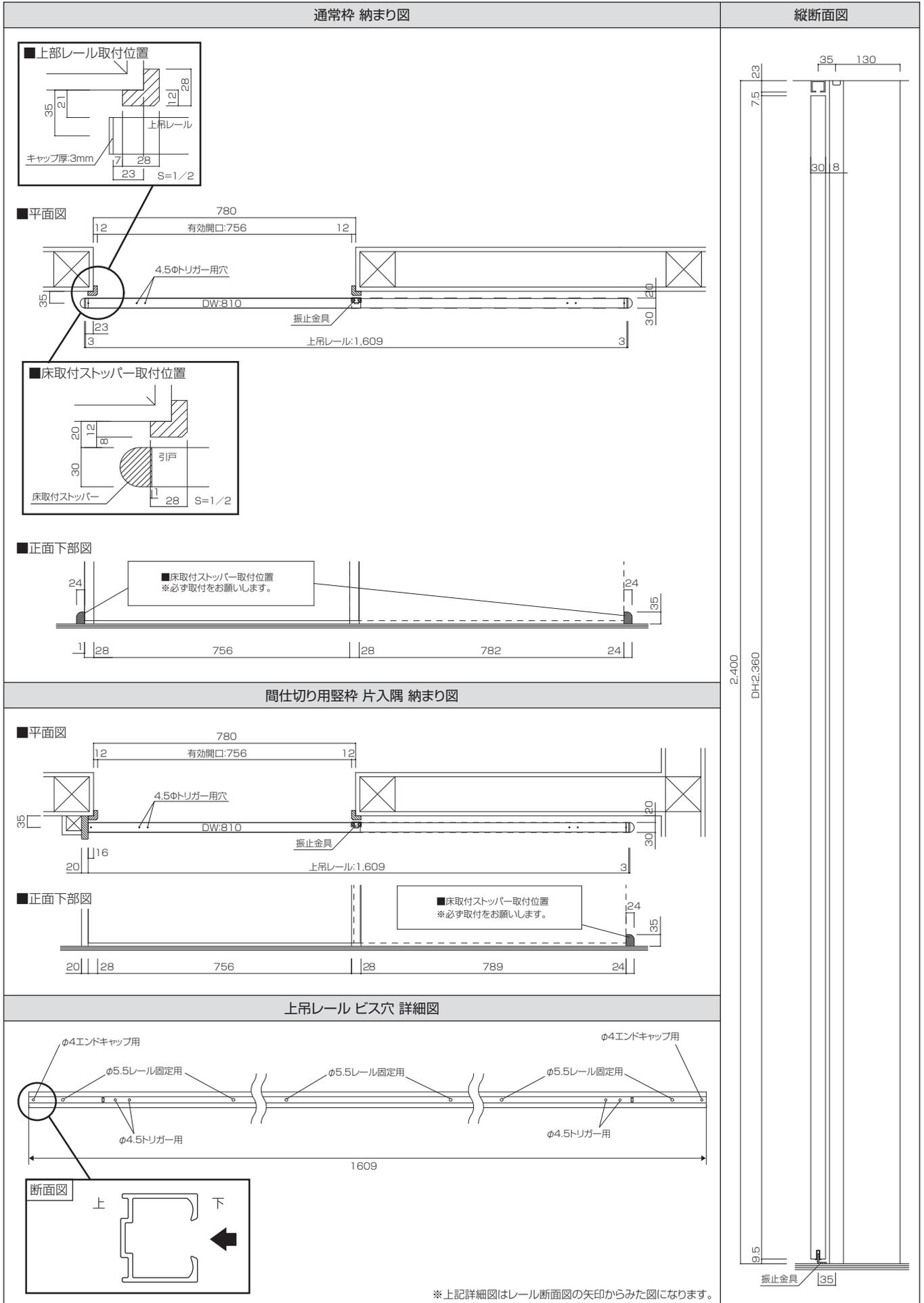
梱包を開いたら、部材の数量に不足がないか、商品にキズや破損などがないかを確認してください。

姿図	部材名	数量
	上吊レール	1本
金具セット ZYJGL5		
	クローザー本体(吊車セット)	2セット
	トリガーセット(ビス2本セット)	2セット
ZYT611	トリガー取り付け治具	1個
ZY3334	振れ止め金具(床付用)	1個
55mm φ3.8mm ZYTJ01	上レール取り付けビス(皿ビス)	6本
	エンドキャップ(ビス1本セット)	2個
ZYTR03	床取り付けストッパー(ビス3本セット)	2セット

8ページに進んでください。

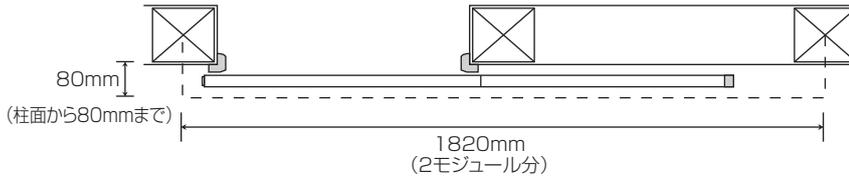
天井下レール取り付けタイプ 納まり図

(単位:mm)



天井下レール取り付けタイプ 施工手順

① 取り付け位置の下地補強

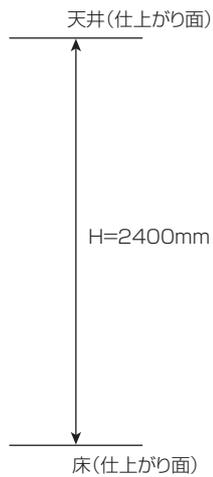


⚠ 注意

天井下地の補強が不十分だと、扉・上吊レールが脱落・転倒するおそれがありますので必ず十分な補強をおこなってください。

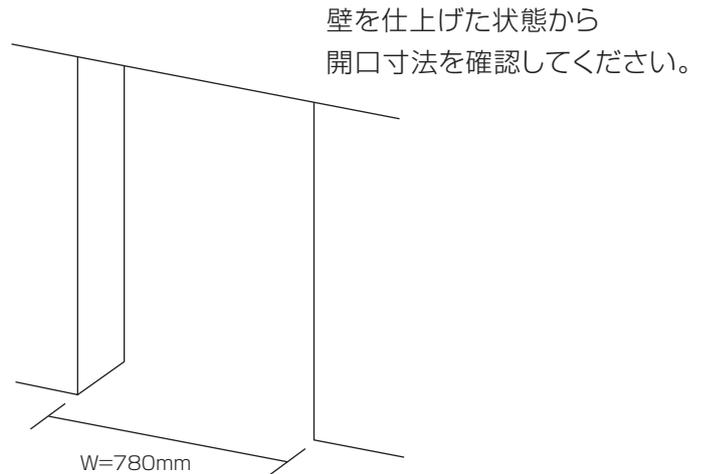
アウトセットの扉を取り付ける位置側の天井裏の補強を行ってください。

② 間口寸法の確認



⚠ 注意

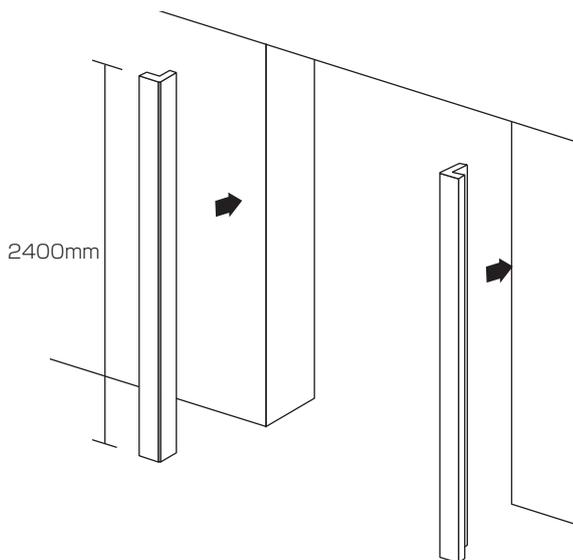
扉の高さがH=2360mmになります。天井高がH=2400mmになるように上げてください。



⚠ 注意

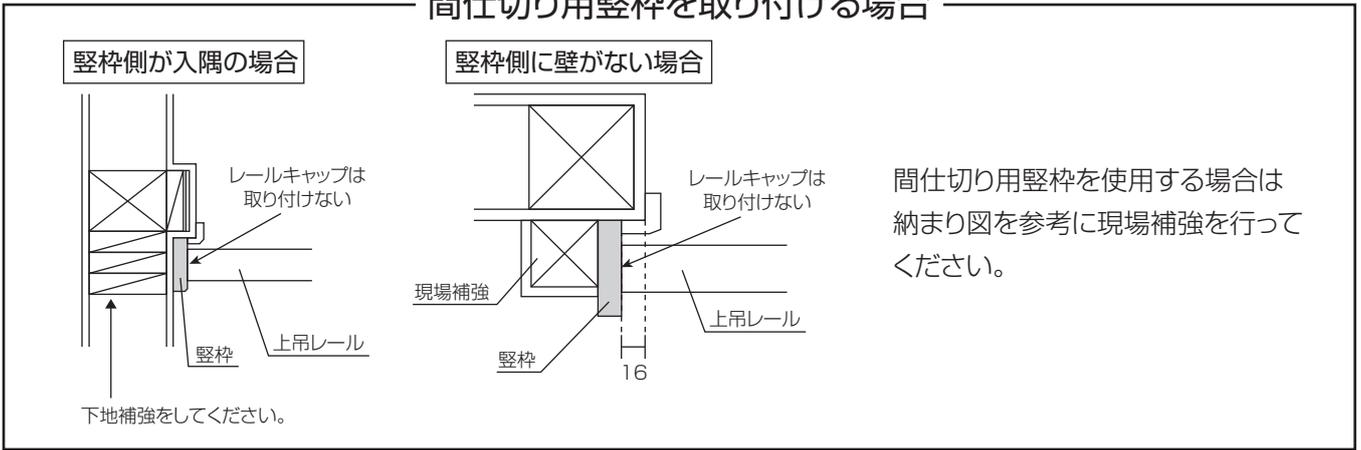
開口寸法(壁が仕上がった状態)がW=780mmになります。レール取り付けには2モジュール(W=1820mm)必要になります。

③ 出隅材の取り付け



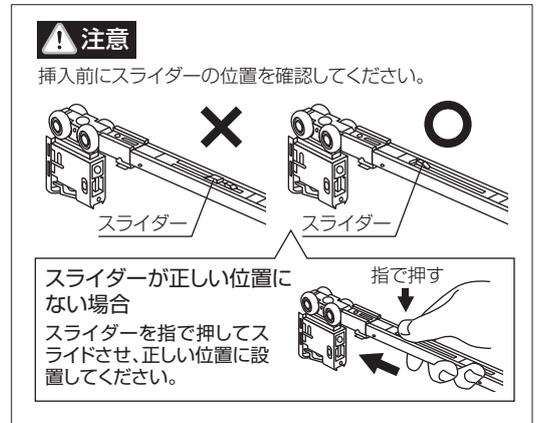
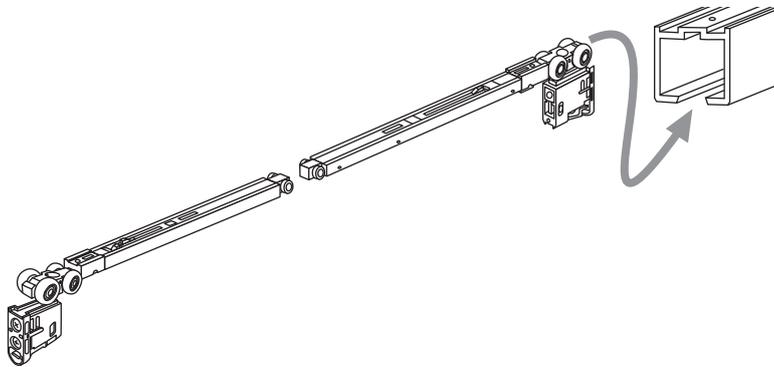
出隅材を開口部のコーナーへ取り付けます。
※出隅材を取り付けるのは、扉が通る側のコーナー部分です。

間仕切り用縦枠を取り付ける場合



④ 吊車の挿入

上吊レールに吊車を挿入してください。吊車は図のように向かい合わせてレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないので注意してください。



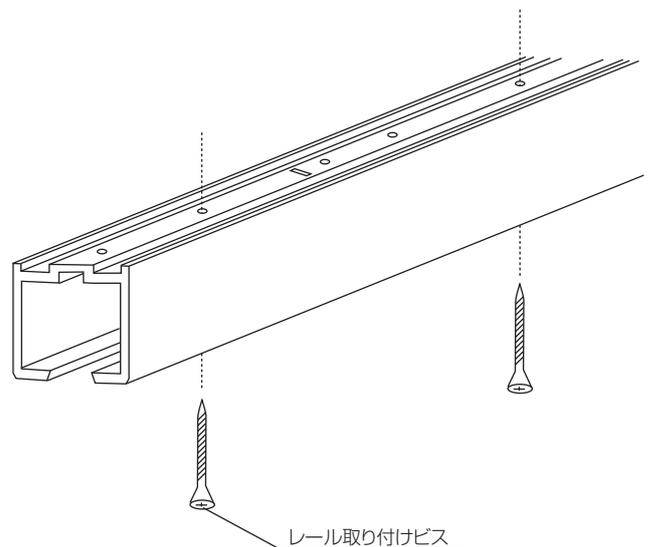
⑤ 上吊レールの固定

縦枠取り付け後、天井のクロスを仕上げた後に、上吊レールを天井に取り付けます。

4ページの「上吊レールビス穴詳細図」を参照し、 $\phi 5.5$ レール固定用のビス穴に同梱の取り付けビスで6カ所確実に固定させてください。
※ビス穴を取り付ける前に下穴をあけておいてください。

注意

- ・レール取り付けビスを打ち込む場所にはビスがきちんと効くように、下地の補強を確実にしておいてください。
- ・吊車を挿入した状態でレールをかたむけると、吊車が落下してしまうおそれがありますので、レールを取り付ける際は平行にして取り付けてください。
- ・木くずやゴミなどが付着しないように注意してください。



※必ず同梱のビスを使用してください。

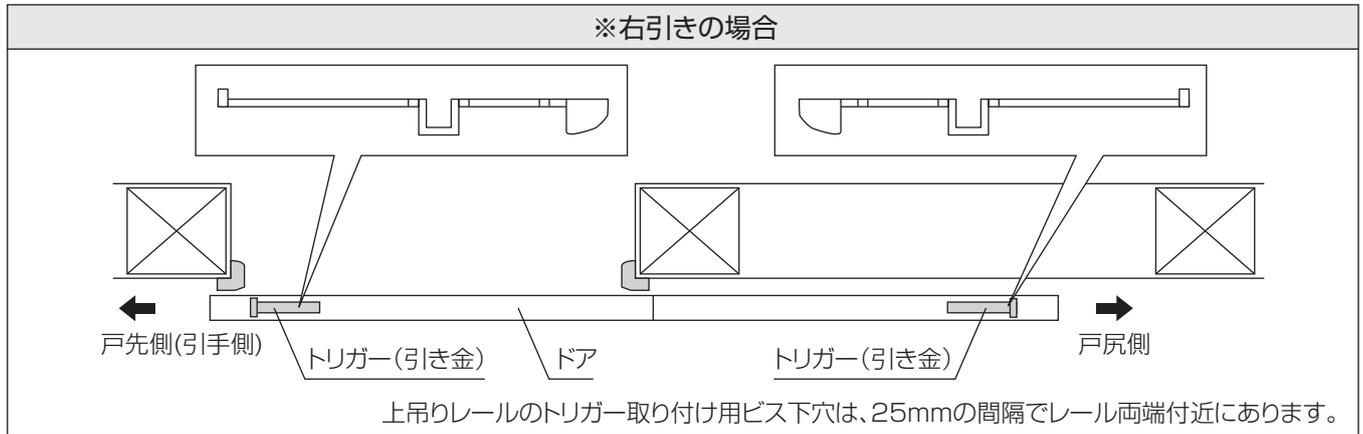
⑥トリガーの取り付け

4ページの「上吊レールビス穴詳細図」を参考に、φ4.5トリガー用のビス穴にトリガーを同梱のビスで取り付けます。
 ※ビスを取り付ける前に取り付ける位置に下穴をあけておいてください。

トリガー取り付け位置と取り付け方向

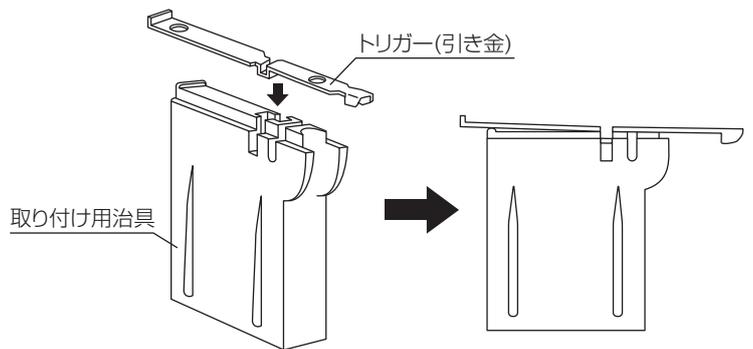
■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、
 尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。



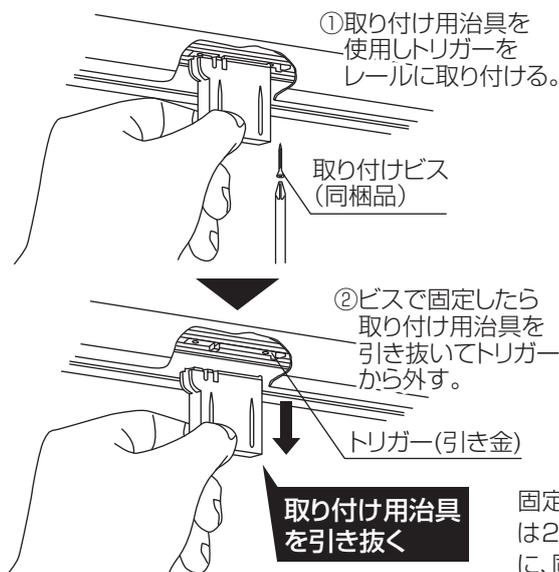
③取り付け用治具とトリガーセットの確認

本品は出荷時、トリガーと取り付け用治具がセットされている状態ですが、外れている場合は図のようにトリガーを取り付け用治具へセットしてください。



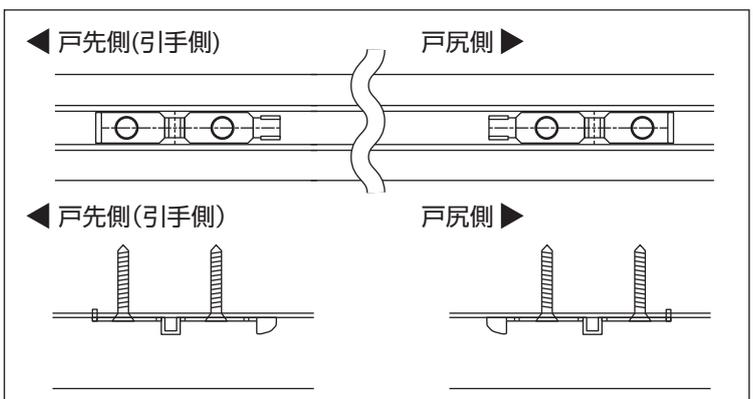
④トリガーの取り付け

トリガーをセットした取り付け用治具を上吊レール内側のトリガー用ビス穴へ押し当てて同梱の専用ビスを治具ビス穴に通し、トリガーを固定します。



トリガー・上吊レール納まり図

(右引きの場合)

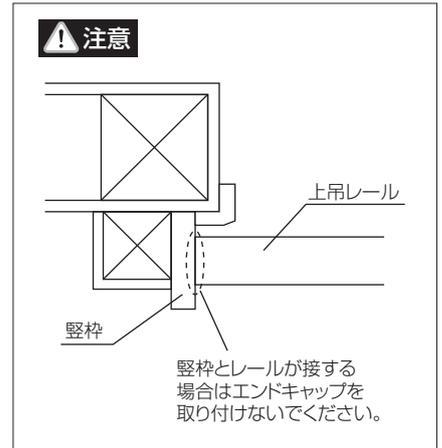
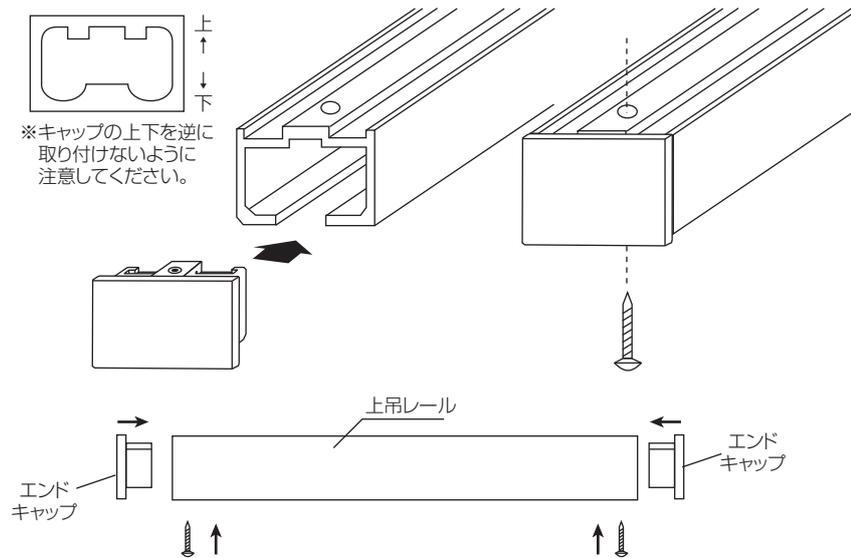


固定されたら、取り付け治具を下に引っ張って抜いてください。トリガーの固定は2か所となっています。取り付け用治具を引き抜いた後、もう1か所のビス穴に、同梱の取り付けビスで固定してください。

⚠ 注意

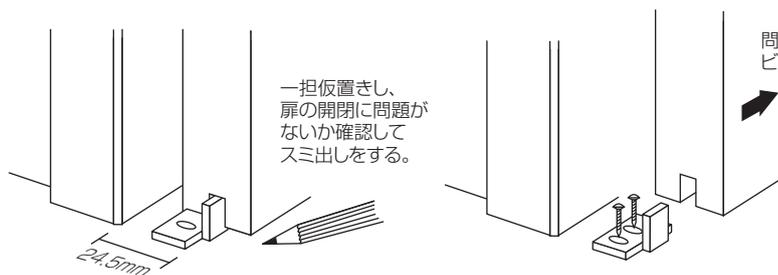
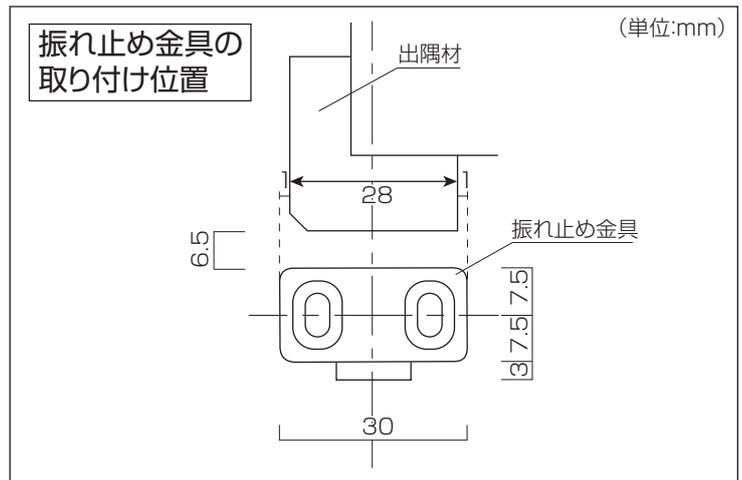
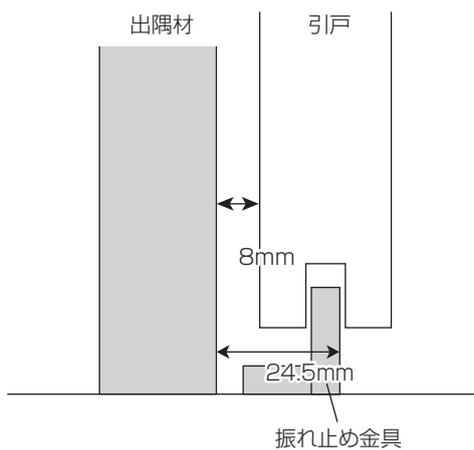
トリガーの取り付けは、手回しドライバーにて行ってください。トリガーがしっかりと取り付けされていない場合、ソフトクローズの動作不良の原因となります。

⑦ エンドキャップの取り付け



上吊レールの両サイドにエンドキャップを取り付け、
同梱のビスで固定してください。

⑧ 振れ止め金具の取り付け



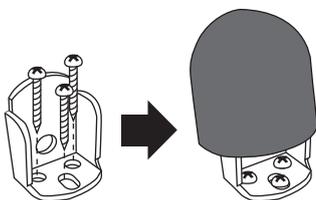
問題なければ
ビスで本固定

取り付け寸法を参考に振れ止め金具の
取り付け位置を決めてください。
本固定する前に一旦仮置きし、
吊った扉が問題なく作動すること
を確認してから、同梱の取り付けビスで
本固定させてください。

■ 床取り付けストッパーの取り付けについて

戸先側と戸尻側の2カ所の引き戸下に床取り付け
ストッパーを取り付けます。

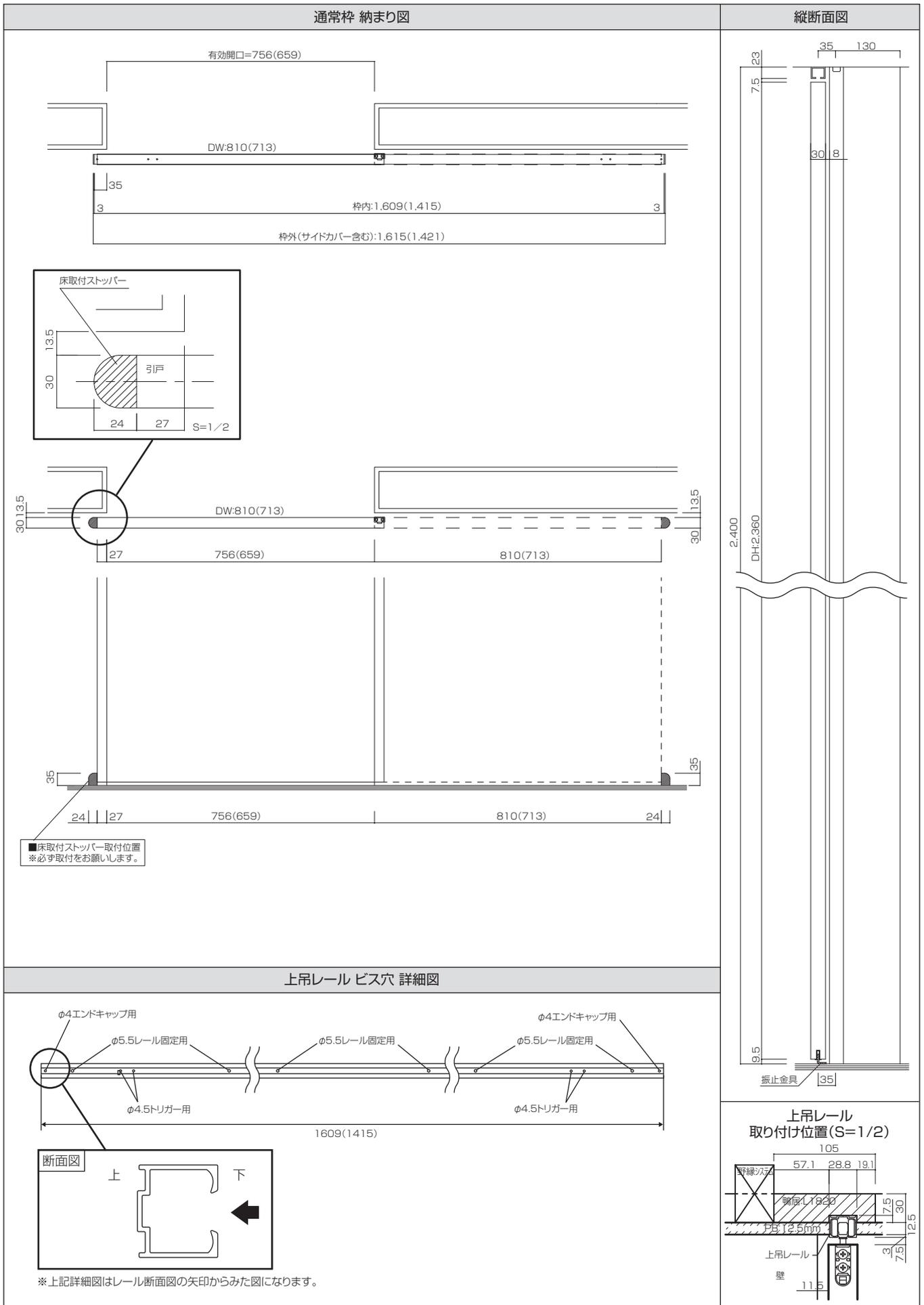
取り付ける場所については、納まり図をご確認ください。



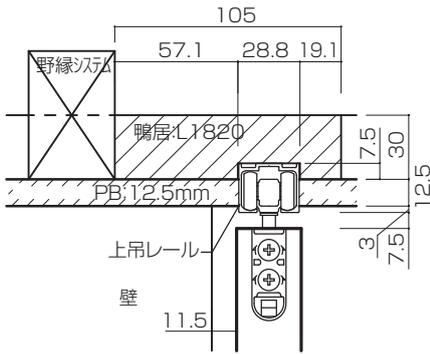
※有効開口標準より狭い場合や
引き残しが必要な場合は、
引き残りストッパーの位置に合わせて
取り付ける位置を調節してください。

天井下レール取り付けタイプ(ワンズキューボ1,500セレクション標準)納まり図

(単位:mm)

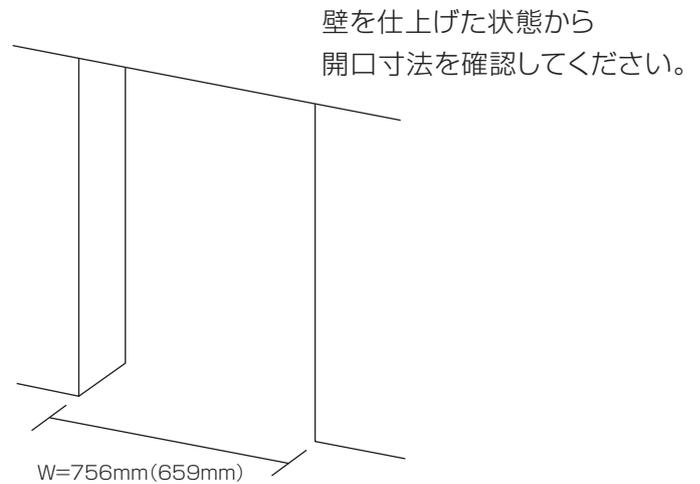
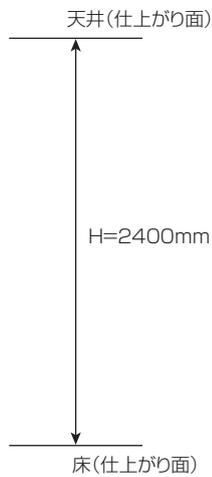


① 天井下地鴨居の位置確認



事前に取り付けてある天井下地鴨居の位置を確認してください。

② 間口寸法の確認



注意

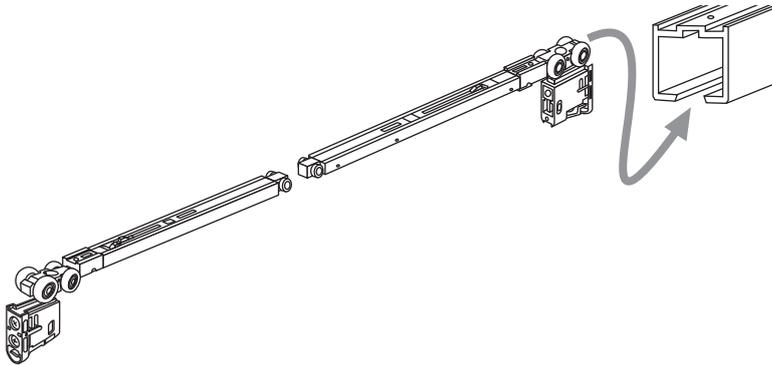
扉の高さがH=2360mmになります。天井高がH=2400mmになるように仕上げてください。

注意

開口寸法(壁が仕上がった状態)がW=756mm(659mm)になります。

③ 吊車の挿入

上吊レールに吊車を挿入してください。吊車は図のように向かい合わせてレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないので注意してください。



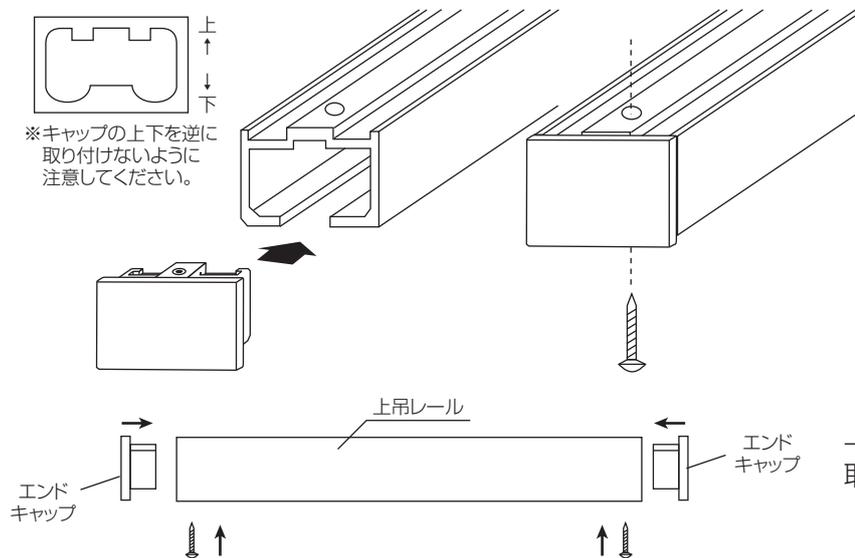
⚠ 注意
挿入前にスライダーの位置を確認してください。

スライダー × スライダー ○

スライダーが正しい位置にない場合
スライダーを指で押してスライドさせ、正しい位置に設置してください。

指で押す

④ エンドキャップの取り付け ※天井に埋め込むので先に取り付けます。



上吊レールの両サイドにエンドキャップを取り付け、同梱のビスで固定してください。

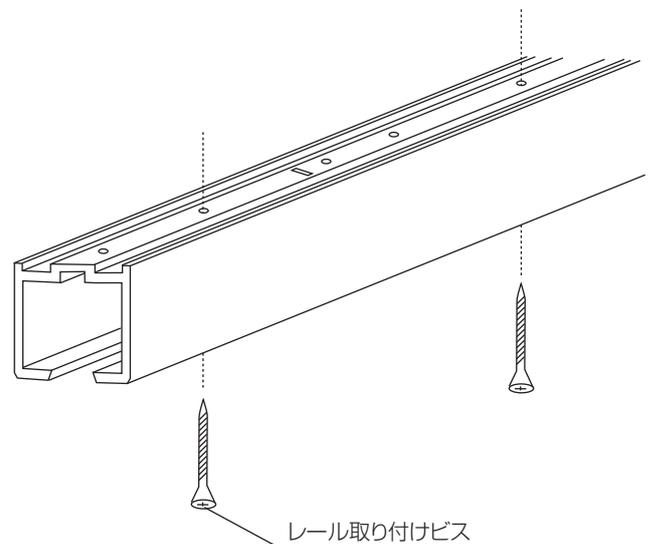
⑤ 上吊レールの固定

天井下地鴨居の溝に上吊りレールをはめこみレール取り付けビスにて固定します。

10ページの「上吊レールビス穴詳細図」を参照し、 $\phi 5.5$ レール固定用のビス穴に同梱の取り付けビスで6ヵ所確実に固定させてください。
※ビス穴を取り付ける前に下穴をあけておいてください。

⚠ 注意

- 吊車を挿入した状態でレールをかたむけると、吊車が落下してしまうおそれがありますので、レールを取り付ける際は平行にして取り付けてください。
- 木くずやゴミなどが付着しないように注意してください。



※必ず同梱のビスを使用してください。

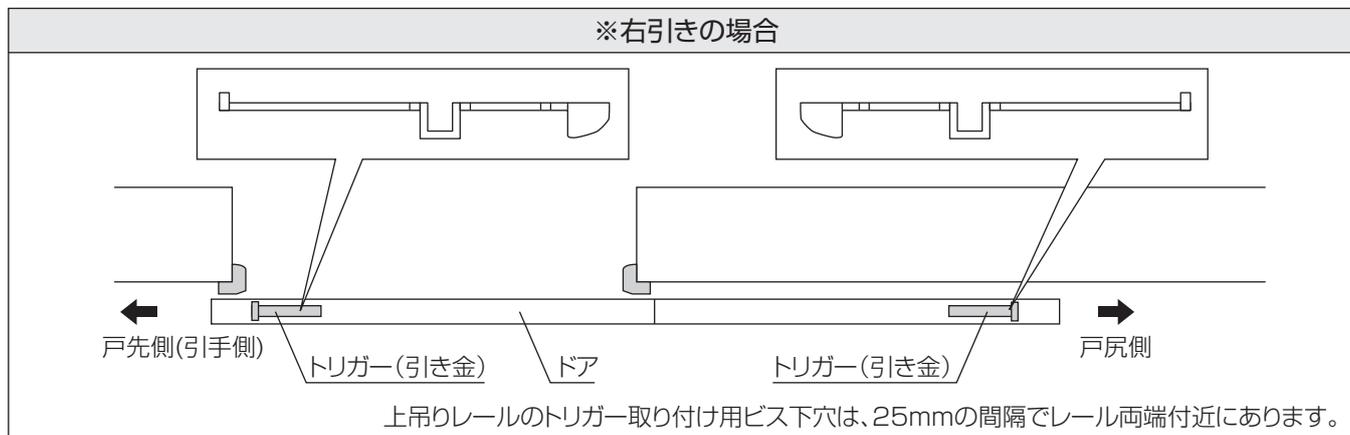
⑥トリガーの取り付け

10ページの「上吊レールビス穴詳細図」を参考に、φ4.5トリガー用のビス穴にトリガーを同梱のビスで取り付けます。
 ※ビスを取り付ける前に取り付ける位置に下穴をあけておいてください。

トリガー取り付け位置と取り付け方向

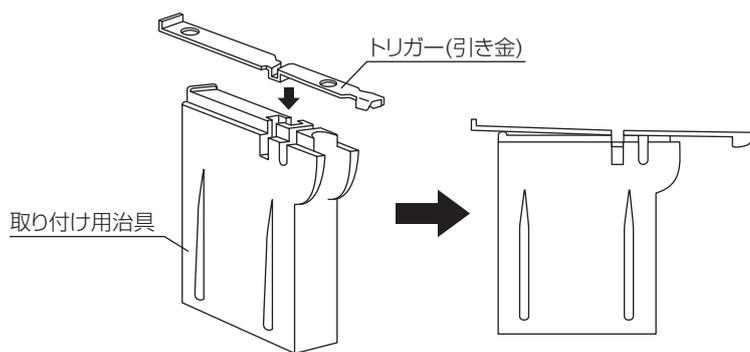
■トリガー(引き金)の取り付け向きをご確認ください。

※必ずレールの長穴加工部分にトリガーの折り曲げ部分が差し込まれるように合わせ、
 尚かつトリガー取り付け穴2か所をレールの取り付け穴位置に必ず合わせて取り付けてください。



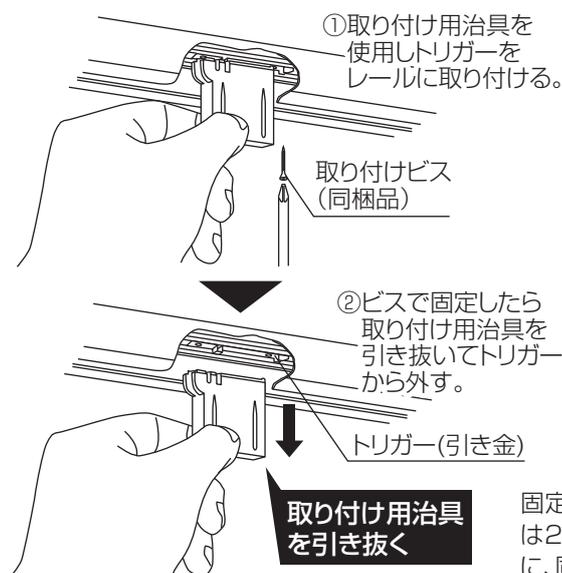
③取り付け用治具とトリガーセットの確認

本品は出荷時、トリガーと取り付け用治具がセットされている状態ですが、外れている場合は図のようにトリガーを取り付け用治具へセットしてください。

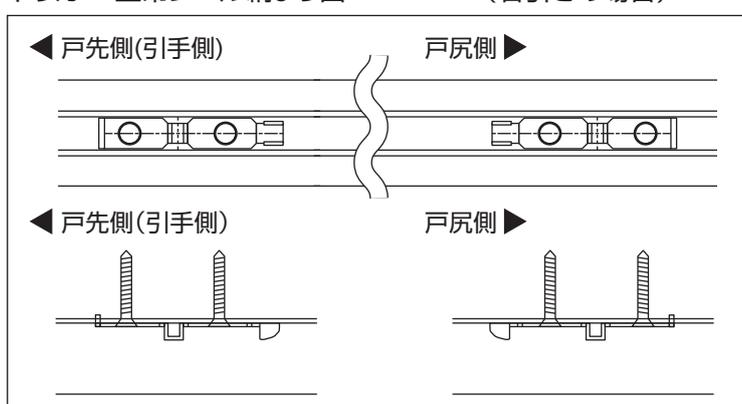


④トリガーの取り付け

トリガーをセットした取り付け用治具を上吊レール内側のトリガー用ビス穴へ押し当てて同梱の専用ビスを治具ビス穴に通し、トリガーを固定します。



トリガー・上吊レール納まり図 (右引きの場合)

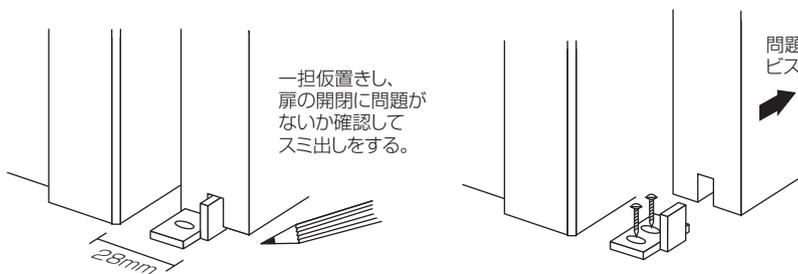
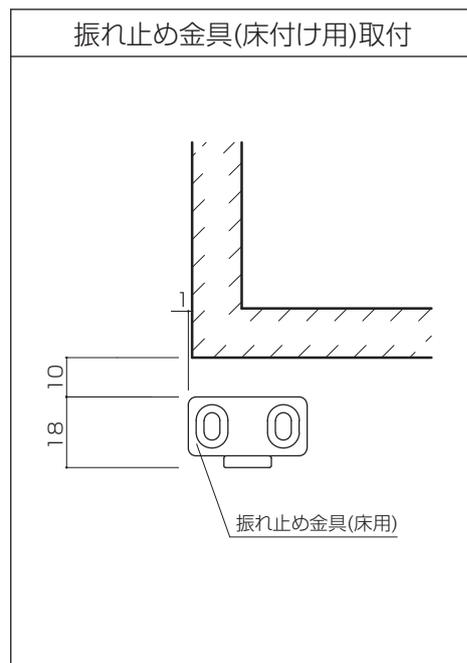
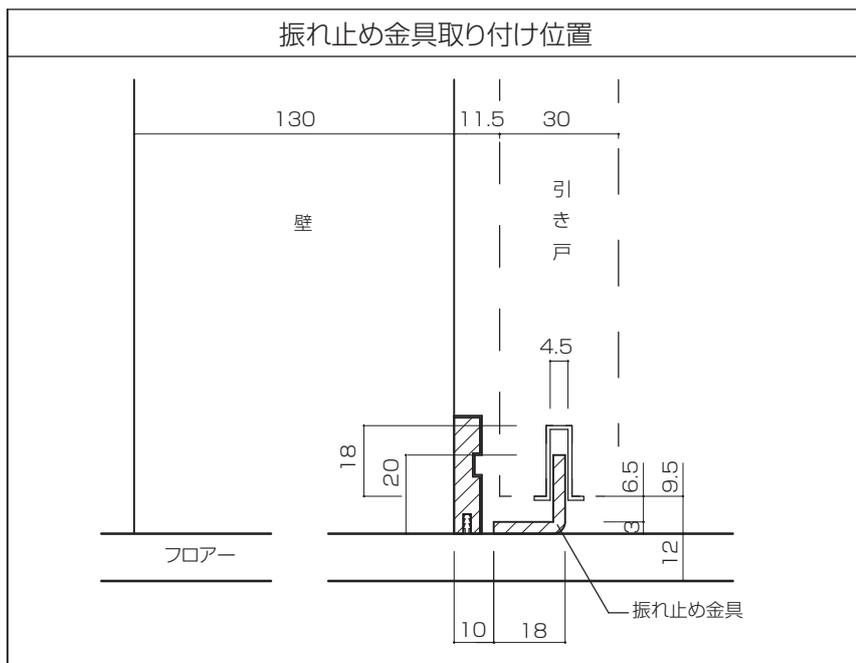


固定されたら、取り付け治具を下に引っ張って抜いてください。トリガーの固定は2か所となっています。取り付け用治具を引き抜いた後、もう1か所のビス穴に、同梱の取り付けビスで固定してください。

⚠ 注意

トリガーの取り付けは、手回しドライバーにて行ってください。トリガーがしっかりと取り付けされていない場合、ソフトクローズの動作不良の原因となります。

⑦ 振れ止め金具の取り付け

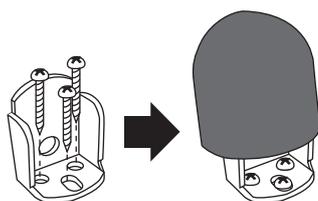


取り付け寸法を参考に振れ止め金具の取り付け位置を決めてください。本固定する前に一旦仮置きし、吊った扉が問題なく作動することを確認してから、同梱の取り付けビスで本固定させてください。

■ 床取り付けストッパーの取り付けについて

戸先側と戸尻側の2カ所の引き戸下に床取り付けストッパーを取り付けます。

取り付ける場所については、納まり図をご確認ください。



※有効開口標準より狭い場合や引き残しが必要な場合は、引き残しストッパーの位置に合わせて取り付ける位置を調節してください。

施工終了後

■ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

■ お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。